2027年３月期　第２四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月12日

上 場 会 社 名　エイベックス株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　7860　　URL　https://avex.com/jp/ja/
代　　表　　者　(役職名)　代表取締役社長ＣＥＯ　(氏名)　黒岩　克巳
問合せ先責任者　(役職名)　代表取締役ＣＦＯ　(氏名)　林　真司　(TEL)　0570(020)050

半期報告書提出予定日　2026年11月13日　配当支払開始予定日　2026年12月３日
決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：有　(　機関投資家・証券アナリスト向け動画配信を予定　)

(百万円未満切捨て)

１　2027年３月期第２四半期(中間期)の連結業績(2026年４月１日～2026年９月30日)

(１) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	73,520	14.8	3,478	210.8	3,621	172.9	1,597	84.8
2026年３月期中間期	64,028	14.1	1,119	―	1,327	―	864	△47.0

(注) 包括利益　2027年３月期中間期　1,994百万円(　101.4%)　2026年３月期中間期　990百万円(　△49.2%)

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	37.53	―
2026年３月期中間期	20.38	―

(２) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	117,597	51,487	42.5
2026年３月期	110,793	52,889	46.5

(参考) 自己資本　2027年３月期中間期　50,019百万円　2026年３月期　51,572百万円

２　配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	25.00	―	25.00	50.00
2027年３月期	―	25.00			
2027年３月期(予想)			―	25.00	50.00

(注)　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３　2027年３月期の連結業績予想(2026年４月１日～2027年３月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	46.9	3,200	△9.9	75.07

(注)　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）　当中間期における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　　ー社（社名）　ー　　除外　　ー社（社名）　ー

（２）　中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）　発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	46,091,600株	2026年３月期	45,919,300株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	3,411,043株	2026年３月期	3,410,828株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	42,573,373株	2026年３月期中間期	42,424,344株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１　経営成績等の概況 …… ２
（１）当中間期の経営成績の概況 …… ２
（２）当中間期の財政状態の概況 …… ２
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… ２
２　中間連結財務諸表及び主な注記 …… ３
（１）中間連結貸借対照表 …… ３
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… ５
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… ７
(継続企業の前提に関する注記)…… ７
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)…… ７

１　経営成績等の概況

（１）　当中間期の経営成績の概況

（単位：百万円）

中間連結会計期間実績	2023年３月期	2024年３月期	2025年３月期	2026年３月期	2027年３月期
売上高	54,060	64,355	56,131	64,028	73,520
売上原価	33,704	44,286	40,183	46,079	51,705
売上総利益	20,356	20,068	15,948	17,949	21,815
売上総利益率	37.7%	31.2%	28.4%	28.0%	29.7%
人件費	6,539	6,752	6,220	6,088	6,474
販促宣伝費	3,429	3,325	3,182	3,538	3,400
一般経費	6,767	7,823	8,666	7,202	8,461
販管費合計	16,736	17,901	18,070	16,829	18,336
営業利益又は営業損失(△)	3,619	2,167	△2,122	1,119	3,478
営業利益率	6.7%	3.4%	－%	1.7%	4.7%

当社グループが属するエンタテインメント業界の環境としましては、ライヴの売上金額が前年同期比8.3%増の3,182億円(2026年１月～６月。一般社団法人コンサートプロモーターズ協会調べ)、音楽ビデオを含む音楽ソフトの生産金額が前年同期比8.5%増の1,726億円(2026年１月～９月。一般社団法人日本レコード協会調べ)、有料音楽配信売上金額が前年同期比17.0%増の969億円(2026年１月～６月。一般社団法人日本レコード協会調べ)となりました。映像関連市場につきましては、映像ソフトの売上金額が前年同期比12.9%増の672億円(2026年１月～９月。一般社団法人日本映像ソフト協会調べ)となりました。

このような事業環境の下、当社グループは、長期的に活躍できるIPの創出に注力するとともに、権利の獲得及び価値最大化、さらには収益体質の強化を目指した全社的な構造改革を推進しております。これにより、各セグメントにおけるIPの創出が進捗し、それぞれのアーティストや作品が国内外で活動の幅が拡大しております。さらに、米国拠点のクリエイティヴネットワークを活用しIPの海外展開の取り組みを強化するとともに、IPの権利を活用したカタログビジネスにおいては、音楽関連権利に関する共同事業の開始やアニメ作品における過去作品の権利活用等による、権利価値を最大化する取り組みについても推進しております。

当中間連結会計期間の経営成績としましては、音楽事業におけるマーチャンダイジング収入及び音楽パッケージ作品の販売数が増加したこと並びにアニメ・映像事業における大型実写映画興行等が好調に推移したこと等により、売上高は735億20百万円(前年同期比14.8%増)、営業利益は34億78百万円(前年同期比210.8%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は15億97百万円(前年同期比84.8%増)となりました。

（２）　当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて68億３百万円増加し、1,175億97百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が64億79百万円減少したものの、現金及び預金が110億41百万円及び無形固定資産の「その他」が15億７百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて82億５百万円増加し、661億10百万円となりました。これは主に、前受金が72億31百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて14億２百万円減少し、514億87百万円となりました。これは主に、利益剰余金が５億34百万円増加したものの、資本剰余金が22億42百万円減少したことによるものであります。

（３）　連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想につきまして、2026年５月14日に公表いたしました「2026年３月期 決算短信」の予想を変更しておりません。

今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

２　中間連結財務諸表及び主な注記

（１）　中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,305	45,346
受取手形及び売掛金	25,678	19,198
商品及び製品	1,273	1,695
仕掛品	4,157	4,593
原材料及び貯蔵品	380	250
その他	16,096	15,965
貸倒引当金	△136	△108
流動資産合計	81,755	86,943
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,380	5,232
土地	2,986	2,981
その他（純額）	1,207	1,338
有形固定資産合計	9,574	9,552
無形固定資産		
のれん	2,535	2,448
その他	2,432	3,940
無形固定資産合計	4,968	6,388
投資その他の資産		
投資有価証券	6,977	7,430
退職給付に係る資産	193	180
その他	8,272	8,013
貸倒引当金	△947	△911
投資その他の資産合計	14,496	14,713
固定資産合計	29,038	30,654
資産合計	110,793	117,597

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,778	2,637
未払金	30,299	31,272
未払法人税等	554	1,378
返金負債	1,163	1,077
前受金	5,962	13,194
賞与引当金	819	524
その他	14,620	13,733
流動負債合計	56,198	63,819
固定負債		
長期借入金	―	645
その他	1,705	1,645
固定負債合計	1,705	2,290
負債合計	57,904	66,110
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,836	4,938
資本剰余金	5,125	2,882
利益剰余金	45,069	45,604
自己株式	△4,933	△4,933
株主資本合計	50,098	48,491
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	929	1,047
為替換算調整勘定	360	370
退職給付に係る調整累計額	184	110
その他の包括利益累計額合計	1,474	1,527
非支配株主持分	1,317	1,467
純資産合計	52,889	51,487
負債純資産合計	110,793	117,597

（２） 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	64,028	73,520
売上原価	46,079	51,705
売上総利益	17,949	21,815
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	2,687	2,556
販売促進費	851	844
貸倒引当金繰入額	△37	△108
従業員給料及び賞与	4,130	3,986
賞与引当金繰入額	178	512
退職給付費用	△21	89
支払手数料	3,290	3,916
その他	5,750	6,539
販売費及び一般管理費合計	16,829	18,336
営業利益	1,119	3,478
営業外収益		
受取利息	58	106
受取配当金	6	14
持分法による投資利益	213	77
その他	41	109
営業外収益合計	320	308
営業外費用		
支払利息	1	22
投資事業組合運用損	－	52
貸倒引当金繰入額	△16	38
支払手数料	29	29
為替差損	62	－
その他	36	22
営業外費用合計	112	165
経常利益	1,327	3,621
特別損失		
事業整理損失引当金繰入額	－	264
事業整理損	48	－
固定資産除却損	19	－
その他	－	14
特別損失合計	68	279
税金等調整前中間純利益	1,258	3,342
法人税、住民税及び事業税	335	1,306
法人税等調整額	△22	103
法人税等合計	313	1,409
中間純利益	945	1,932
非支配株主に帰属する中間純利益	80	335
親会社株主に帰属する中間純利益	864	1,597

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年４月１日 至 2025年９月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年４月１日 至 2026年９月30日)
中間純利益	945	1,932
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	278	117
為替換算調整勘定	△20	19
退職給付に係る調整額	△139	△67
持分法適用会社に対する持分相当額	△72	△7
その他の包括利益合計	45	61
中間包括利益	990	1,994
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	911	1,651
非支配株主に係る中間包括利益	79	343

（３） 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当中間連結会計期間において、当社連結子会社S10 Entertainment & Media LLCの株式を追加取得したこと等により、資本剰余金が2,242百万円減少しております。

この結果、当中間連結会計期間末において資本剰余金が2,882百万円となっております。